

令和2年度 卒業年次アンケート分析結果の報告

1. 学習面

【日本文化学科】

令和2年度の日本文化学科卒業年次アンケートでは、「学科での学びと生活について」の「専門的な理解が深まったと思いますか」という項目で、88%が「とてもそう思う」「ある程度そう思う」と回答しています。

また、教員の指導や対応が丁寧で適切だったかという項目では、94%が「とてもそう思う」「ある程度そう思う」と回答しています。回答した卒業生が、教員の指導の下、専門的な知識を身に付けることができたということだと思います。

今後も各教員が専門的な理解が深められるよう指導を行い、学生一人一人のニーズに合わせてサポートしていきたいと考えています。

【国際文化学科】

回答率が46.5%だったのが残念ですが、国際文化学科最後の学年の皆さんが、学科と各コースでの学びによって、教養力、豊かな人間性、専門力、コミュニケーション力、実践力、判断力を身につけられたことが分かりました。これらの力は、社会に出てから必ず役に立つものです。自信を持って自分の道を進んでください。国際文化学科という名前はなくなりますが、人間総合学群の人間文化学類と観光文化学類で国際文化学科の学びをさらに発展させて参ります。

【人間関係学科】

人間関係専攻は、全教員が一人ひとりの学生に寄り添いながら、人間と社会における様々な問題に対して知識を活用しつつ的確に対応できる論理性と文章力を備えた「人間力」の育成を目指しています。ゼミで選択できる社会学、心理学、哲学、メディア学などはそのための切り口です。専攻では専門ゼミの学問分野にとらわれることなく、社会に役立つコミュニケーション力や、幅広い実践力・実行力、豊かな人間性を身に付けることができます。そのために必要とされる「批判的思考」を私たちと一緒に人間関係専攻で積極的に学び、自信を持って社会に挑戦してください。

【心理学科】

学生の皆さん、アンケートに協力していただき、ありがとうございます。大学生活最後の1年間は新型コロナの影響ですべて遠隔授業となってしまう、キャンパスライフそのものを楽しめなかった面が多々あったかと思います。そうしたなか、皆さんが熱心に学業に取り組まれたことに私たち教員は敬意を表します。皆さんの意見を踏まえて、心理学科（令和3年度からは心理学類）では専門科目をより充実させていくよう努力していきます。自由記述にあった点も含めて改善に取り組みますので、今後はOGとして本学を応援してください。

【住空間デザイン学科】

専門科目を中心とした学科のカリキュラムや教育内容について、全般的に満足しているとの回答を得ています。その一方で、学外実習などの学外活動を有意義に活用できていないと感じている学生が一定数いることに対しては、教員へ気軽に相談できる機会を設けるなどの検討を行います。「他学年との関わりを持つ機会を増やしてほしい」といった意見に対しては、内定者報告会などの学科内イベントや、授業以外にも卒業制作の作業協力などの機会を設け、皆さんの学習意欲を高めるために活用してもらいたいと考えます。今後もよりよい授業方法や内容について教員間で話し合い、引き続き改善の検討を行っていきます。

【メディア表現学科】

メディア表現学科の授業の多くは、課題解決（表現・制作）を目的とした実習を伴うものです。そういった授業を通して、コミュニケーション、ディスカッション、課題解決（制作）といった、今では当たり前のアクティブラーニングを初年度より一貫して行ってきました。その道のりの中においては、迷うこともあったり、一見否定されるようなこともあったことと思います。しかし、こうした授業を通して、数字では評価しきれない、力を身につけてきていることだと思っています。一人ひとりが思い起こしてみしてほしいと思います。

【健康栄養学科】

健康栄養学科の学生においては、学科（養成施設）としての対応（専門科目の内容、先生方の学生への対応、国試験対策など）には満足している者が多いことが、集計結果やご意見からも伺えました。今後も、この結果に満足せず、数少ない批判の意見にも耳を傾け、先生方で努力してまいりたいと考えています。

2. 学生生活面

【法人事務部から】

【学生食堂について】

学生食堂のメニューや価格、品数等で希望が多くありましたが、令和3年4月より学生食堂の委託業者が新しく変わります。多数の学校（女子大学も含む）で営業実績のある委託業者です。焼きたてパンやデザートも販売する予定となっています。価格設定やメニューにも大分幅を持たせての営業となる予定ですので、今後も多数のご意見を聞かせてください。

【コンビニエンスストアについて】

コロナ禍において、販売スペースが狭く密になりやすい状況であったので営業を控えていましたが、コロナ対策を講じながらの営業を開始します。学生生徒さんの嗜好に合わせて販売を心がけています。また、営業時間に関しては、午後から夕方にかけての利用者数が極端に減少している状況であり、それに合わせて時間設定しています。今後も利用者数の実態に合わせて検討してまいります。

【スクールバスについて】

小田急バスの無料化については、公共交通機関であるため難しいです。また、スクールバスの無料化についても、小田急バスのみ利用者等との不公平感から現在のところは難しいと考えます。

また、スクールバスの運行状況については、毎年履修状況によって利用時間が変わるため、現状を把握したうえで増便を運行させ、学生の皆さんに不便を掛けぬよう対応していきます。

【教務課から】

KOMAJO ポータルの掲示情報は、事務関連部門から配信する情報が掲出されています。休講については、教員からの情報が提出された順に、速やかに KOMAJO ポータルへの掲載を行います。当日に休講の連絡があった場合は、KOMAJO ポータルへの掲出と実施教室への板書も行っています。同様に、補講は教員による実施日の決定があり次第、実施する教室の確認などの対応をしてからの掲出となりますので休講よりも確認項目がありますが、決定した場合にはすぐに掲示をしています。今後もできる限り早く KOMAJO ポータルへ掲出するよう努めていきます。

KOMAJO ポータルの情報は、大学からの連絡のほか、クラスプロファイルでは、授業課題や授業資料の配信もされます。情報は随時更新されていますので、毎日ログインして内容を確認してください。

【進路総合センターから就職支援について】

コロナ禍のもの就職支援について、個別相談に関しては、TEL、メール、MEET での対応、セミナーに関しては、オンデマンド、ライブでの対応に速やかに切り替えましたが、この点についてはやはり対面の対応とは異なり、当該 4 年生にはわかりにくかった部分もあったかと思えます。これらの情報提供に関して、わかりやすく周知していけるように改善し、また、各学科との連携のポイントを再確認し、適切な時期に適切な情報が提供できるように努めていきたいと考えています。

【学修支援センターから】

学修支援センターは、本学の「テラーメイド教育」の一環として、皆さんの学修・進路ニーズに対応した「学力」養成と資格・検定対策の支援を行います。進路実現に向けて、自分合った学修目標を設定し、早期にスタートしましょう。

各種教科の学修や資格・検定対策の講座を用意しています。学修相談も積極的にご利用ください。当センターでは、学生の状況に合った「学びのきっかけ」づくりを支援します。

講座スケジュールや参加方法などは、「koma jo ポータル」で随時案内します。

当センターは、皆さんの学修の「コーチ」であり、「ナビゲーター」でもあります。どうぞ、気軽に参加し、進路実現に向けた「学び」を進めてください。

【図書館から】

1. 「図書館の蔵書数や各種資料の充実度と利便性」について

アンケート結果において

【人文学部】では、とても満足している22.5%、満足している54.3%、あまり満足していない12.1%、全く満足していない2.3%、よくわからない8.7%、【人間健康学部】では、とても満足している11.3%、満足している62.0%、あまり満足していない7.0%、全く満足していない2.8%、よくわからない16.9%との結果であり、【人文学部】では76.8%、【人間健康学部】では73.3%の満足度であり、両学部において約70～75%の満足度が得られた。今後も学生の目線に立ち、さらに環境を整え、利用しやすい図書館に努めていきます。

2. 「本学の学生支援について感じたことや意見等」について

【人文学部】では、「図書館の蔵書に関しては幅広い書籍が揃っており有難いですが、古いものが多いと感じます。調査や研究によっては最新の情報が必要な事もあるので検討していただければと思います」、「図書館で調べ物をする時も、ある程度の資料が揃っているのですが、ジャンルによっては資料が無い事があったので少し不便な点もあるかなと思いました」、「図書館の蔵書数(建築・インテリア系)を増やしてほしいです」との意見が寄せられました。現在、図書館の書籍につきましては、学科の先生方に推薦をいただき購入しております。意見を踏まえ、引き続き先生方に働きかけをしていきたいと思えます。

今後とも図書館利用者の利便性を図り、快適な環境を整えるように努めていきます。